

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらりはーと神立			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 15日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達心理学を基にした体育（運動療育）を中心に身体能力の向上と社会適応を目指した療育を行っていること。	広い運動スペースを確保できている事業所の長所を活かして、よりダイナミックな動き・運動ができるサーキットを展開できている。自転車に乗れるようになってほしいなどの保護者のニーズに答え、個別で練習したりと細かなニーズに対応できている。	より難しい運動にチャレンジできるようにレベルに応じて活動内容に変化をつけること。子どもたちがお手本を見せる機会を増やすことで、やる気につなげていきたい。
2	将来に向けての自立や社会性の向上、高学年に対しては作業班を通して働くために必要な技術を増やす活動をしている。	月一回の食育では、自分で作ったものを自分で食べることで食への興味関心を高めている。作業班では外注作業やボールペンの組み立て等の作業を取り入れることで、就労に向けて必要な集中力やルールなどの社会性を伸ばす活動を取り入れ、対象学年ではない子どもより強みを伸ばしていく観点で作業学習に取り組んだり柔軟性のある対応をしている。	可能な範囲での買い物学習や関連企業への校外学習などより自立に向けた活動を取り入れていきたい。
3	夏祭りイベントや体操イベント、保護者の集いなど子ども同士や保護者同士の交流を図れる時間を設けている。	保護者の悩みを聞き取り、同じような気持ちを感じている保護者を集めて相談会や情報交換ができる機会を設けている。	定期的に集まれる環境を整え、色々な悩みを持っている保護者同士の交流をさらに設けていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動が苦手な子どもも少しずつ集団の活動に参加できるようになってきたが、その日の気分によっては見学したりと集団に入ることが難しいこともある。	その子の気持ちに寄り添った対応しており、自由時間などで密な関わりをしているので、楽しい気持ちでプログラムに入れるようにしていきたい。	お手本を見せてもらう時間を設けたり、子どもたちが好きな遊び（中当てやボール遊び）を準備体操に取り入れることでモチベーションを高めて運動療育に取り組めるようにしている。
2			
3			